

BtoB AIエージェント 職務設計シート

AIエージェントは、導入するものではなく、迎え入れるもの。稼働前にこの1枚を埋める。

エージェント名称	監督責任者（1名・氏名）	所属部門	常駐システム	作成日 / 版

1 職務

担当は1つに絞る。広く書くほど機能しない。

担当業務 1つだけ書く

目標 何を / どれだけ / いつまでに

自ら判断してよい範囲

人間に判断を戻す範囲

2 前提

ここが埋まらない原因は、AI側ではなく自社側にある。

対象顧客像 誰の、どんな課題に応えるか

購買プロセス 検討期間・関与者・決裁の流れ

参照してよい社内資料 具体的な文書名で書く

3 権限

人に付与する権限と同じ粒度で決める。

使用システムと権限レベル 閲覧 / 編集 / 実行

アクセスしてよいデータ範囲

外部情報の参照 可否・許可するサイト

4 具体的な作業

条件分岐ではなく、業務の進め方と期待する成果物を書く。

5 禁止事項と承認フロー

できることより先に、できないことを決める。

やってはいけないこと

人間の承認が必要な行為 / 承認者

停止の判断基準と停止手順

未整備点検シート

埋まらなかった欄が、AI導入以前に着手すべき自社の課題です。

このシートは、設計を完成させるためのものではありません。埋まらない欄を見つけるためのものです。
手が止まった欄は、AIの性能や製品選定の問題ではなく、自社のレベニュープロセスが言語化されていない箇所を示しています。埋まらなかった項目について、何が不足しているか・誰が解消するか・いつまでにを記入してください。

点検項目	書けたか	不足しているもの	解消の担当	期限
監督責任者 1名に絞れたか	はい / いいえ			
目標 数値と期限が入ったか	はい / いいえ			
対象顧客像 文書として存在するか	はい / いいえ			
購買プロセス 関与者と決裁が書けたか	はい / いいえ			
参照してよい社内資料 具体名で挙げられたか	はい / いいえ			
常駐システム 1つに決められたか	はい / いいえ			
権限レベル 閲覧 / 編集 / 実行を区別できたか	はい / いいえ			
承認フロー 承認者を指名できたか	はい / いいえ			
停止手順 誰がどう止めるか決まったか	はい / いいえ			

[判定の目安] 「いいえ」が3つ以上ある場合、AIエージェントの稼働より先に、該当箇所の整理を推奨します。
[着手の順序] 失敗しても損害が小さく、量の多い業務から始めてください。社外への発信、価格・契約に関わる判断、経営層への接触は、初期段階では対象から外します。

エージェント名称	監督責任者（1名・氏名）	所属部門	常駐システム	作成日 / 版
展示会フォロー一次対応	マーケティング課 ○○（課長）	マーケティング課	マーケティングオートメーション	2026-00-00 / v1

1 職務

担当業務

展示会で名刺交換した企業への、初回フォローメール原稿の作成

目標

会期終了後2営業日以内に、全対象への原稿を用意する。10月の展示会分から適用。

自ら判断してよい範囲

来場者の関心テーマに応じた本文の書き分け、紹介する製品ページの選定

人間に判断を戻す範囲

価格・納期への言及、既存取引先への文面、送信の実行

2 前提

対象顧客像

従業員300～2,000名の製造業。設計・生産技術部門の実務担当者と、その上長。

購買プロセス

検討期間6か月～1年。実務担当者が候補を絞り、部門長と購買部門が決裁に加わる。

参照してよい社内資料

製品カタログ2026年版、導入事例集、展示会来場者アンケート集計、想定問答集

3 権限

使用システムと権限レベル

MA：下書き作成のみ（送信不可） / CRM：閲覧のみ / 名刺管理：閲覧のみ

アクセスしてよいデータ範囲

当該展示会の来場者データのみ。過去案件の商談履歴は対象外。

外部情報の参照

可。対象は相手企業の公式サイトのみ。掲示板・SNSは対象外。

4 具体的な作業

1. 来場者アンケートの関心テーマを読み取り、来場者を分類する

2. 分類ごとに本文を作成し、紹介する製品ページを1つ選ぶ

3. 相手企業の公式サイトから事業内容を確認し、冒頭1文に反映する

4. MAに下書きとして保存し、担当者一覧を添えて監督責任者に提出する

5 禁止事項と承認フロー

やってはいけないこと

メールの送信。価格・納期・在庫への言及。競合他社への論評。承認済み以外の資料の引用。

人間の承認が必要な行為 / 承認者

全原稿の社外送信：マーケティング課長が確認。既存取引先向けの文面：担当営業が確認。

停止の判断基準と停止手順

事実と異なる記載が2件以上出た時点で停止。監督責任者がMAの連携を解除する。